

## シグマ委員会核データ専門部会 ワーキンググループ・リーダ会合(1984年度第1回会合)議事録

日時 1984年5月18日(金) 10時~12時30分  
場所 日本原子力研究所 本部第6会議室  
出席者 飯島, 村田 (NAIG), 神田 (九大), 北沢 (東工大), 菊池, 浅見,  
中川 (原研)

### 配布資料

- GL-84-01 各グループの昭和58年度活動報告と59年度活動予定。(4月13日の運営委員会に提出した資料の写し)
- GL-84-02 シグマ委員会核データ専門部会全体会議事録(1983年12月2日)
- GL-84-03 JENDL-2および実験データ作図の現状(浅見)
- GL-84-04 JENDL-3のための評価者と物理量の表(浅見)

### 議 事

1. 前回全体会議事録(GL-84-02)の確認
2. JENDL-2のstatus reviewの現状

浅見委員からGL-84-03を使って次のような説明があった。

「現在までに作成したJENDL-2と実験データの比較図はGL-84-03に示した通りである。このうち重い核のプロットは外注で作成した。データの多いU-233の核分裂断面積のプロットなどで苦労している。まとまった部分から印刷に発注している。なお、非弾性散乱断面積については今回はプロットしていない。」

これに対して、プロットするデータの選択について若干の議論があった。またでき上がった図は、各WGで良く検討することを確認した。

3. JENDL-3のための評価作業委託の現状

浅見委員が、JENDL-3に格納する物理量の表を作成した。配布資料GL-84-04はその一部である。その中には、再評価すべきもの、新たに評価すべきもの、評価の担当者、評価を委託で行うものなどが明確に示されている。こ

の資料を各評価者に配布することにした。

4. JENDL-3のspecial purpose fileについて。

JENDL-3としてspecial purpose fileを持つかどうかについての議論をした。その結果

- 1) 熱中性子散乱データについては、可能性について検討することにした。
- 2) Dosimetry fileについては今回は結論を出せなかった。

5. JEFとの協力について。

NEANDCの後の3月19日(月)原研本部でJEFに関係しているNEANDCの出席者と非公式な会合を持った事が報告された。その後、JEFとJENDLとの協力について、

- ・ 構造材核種の場合、JENDL側は高エネルギー領域のデータを、JEF側は共鳴領域のデータを評価して協力することが可能である。
- ・ もし、JEFのデータが良ければJENDLに採用する位のゆるい関係の方がよいのではないか？
- ・ JEFのcovariance dataの一部をJENDLにもらえないか？
- ・ JENDL-3からはなにをJEFに提供できるのか？

などの議論がなされた。

6. その他

1) ガンマ線生成核データW.G.

58年度に予定していた8核種の評価が3核種しか終らなかった事についての説明があった。JENDL-3のためにガンマ線生成核データを評価する担当者はすべて決定している。浅見委員が担当者表を作ることになった。

2) ガス生成核データ

最近、GNASHの新しいversionを入手した事が報告された。